

令和 2 年度 第 1 回 可児市地域公共交通協議会  
提出された意見と意見に対する事務局の考え方

報告第 1 号 可児市地域公共交通網形成計画 事業の進捗状況及び個別事業及び路線単位の評価・検証について

No.	いただいたご意見	意見に対する事務局の考え方
1	高齢化が進む中の市民の足として 5 年後の評価として良いかと認識をしています。	令和 4 年には「可児市公共交通網形成計画」の中間見直しを行います。今後も高齢者を中心に学生へも利用促進を行っていきます。
2	東鉄バスなど広域支援路線の落ち込みが気にかかります。この理由についてもう少し深掘りした方がよいと思います。	地域支援路線の落ち込みの理由について、検証します。また、東濃鉄道株式会社と情報共有を行っていきます。
3	公共交通については利用促進施策を継続し、利用者の増加とサービスの向上を目指してほしい。	利用者の増加とサービスの向上に努めます。
4	現状に応じた対応ができています。	利用促進施策を継続し、さらに利用者が増加するよう努めます。
5	地域支援路線の東鉄バス（帷子線）の目標値に対して実績との乖離が大きいことに心配です。 殆ど乗客なしでの運行に憂慮しています。 更なる利用促進施策等の実施のためには再度多くの方々へのアンケートが必要と思います。 路線内の団地には高齢者世帯、特に高齢者の単身世帯が増加しています。これらの方々へ重点的にアンケートを実施して利用者の忌憚ない意見や要望を聞き出し、再改善案を見つけることが必要ではないかと思ひます。	令和 4 年には「可児市公共交通網形成計画」の中間見直しを行いますので、その際には高齢者のご意見も伺います。 帷子線については、通勤利用が急激に落ち込んだことから減少傾向が続いています。今後は生活利用が増加すると見込まれますので、効果的な利用促進を行っていきます。
6	課題に対して“専業主婦、運転免許証を返上した人、全く免許証のない人、70-74 歳までの高齢者、75 歳以上の後期高齢者、生活保護者、軽度の障がい者、最寄りの鉄道駅まで歩いて通勤・通学している人、	

可児市内の観光地を巡っている人、運動不足で歩くことを運動としている人、小中学生など”を対象に利用促進を図るべく乗車券の観点から検討させていただきました。

1. 1 日乗車券にバスの種類に関係なくどのバスにも一律摘要できる全路線利用可能な1か月定期券及び半年定期券を導入する。定期券価格は一律に決めるのではなく各世帯によって年間所得に差がありますので、毎年可児市へ納める住民税の所得金額を対象に下記のように決めるのが良策ではないかと思えます。定期券価格に差を生じさせたのは所得の低い人に大いに利用していただきたい思いからです。ご検討の程よろしく願います。

(1) 世帯全員の合計所得金額が基準額以下の方
-------------------------

(2) 生活保護者及び中国人残留邦人等に対する支援給付を受給している方
-------------------------------------

(3) 本人の合計所得金額が基準額以下であって、他の世帯員の合計所得金額が基準額を超える方
---

(4) 本人の合計所得金額が基準額を超える方
------------------------

基準額については過去の乗車人数を勘案して採算の取れる定期券価格になるよう決める必要があります。

2. 65歳以上74歳以下の高齢者や障がい者の方の定期券価格についても上記と同じように下記年間所得基準額を算出し決めるのが良策ではないかと思えます。下記の基準額は私案ですのでご検討の程よろしく願います。

## 1.2.について

さつきバス定期券の発行は東濃鉄道株式会社が行っております。対象者の所得金額の把握が困難であること、定期券の種類が増え煩雑になることから、所得金額により定期券価格に差を生じさせるのは困難です。

また、現在のさつきバスの乗車料金（定期券を含む）は福祉的な観点により採算の取れる金額設定ではないため、事業継続性を考慮し料金の大幅な見直しを行う予定はありません。

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="315 185 1149 244">扶養親族なし 年間所得金額→35 万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 244 1149 344">扶養親族あり 年間所得金額→35 万円×（扶養親族+1）+21 万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 344 1149 392">寡婦・寡夫・障がい者の方 年間所得金額→125 万円</td> </tr> </table>	扶養親族なし 年間所得金額→35 万円	扶養親族あり 年間所得金額→35 万円×（扶養親族+1）+21 万円	寡婦・寡夫・障がい者の方 年間所得金額→125 万円	
扶養親族なし 年間所得金額→35 万円					
扶養親族あり 年間所得金額→35 万円×（扶養親族+1）+21 万円					
寡婦・寡夫・障がい者の方 年間所得金額→125 万円					
<p>3. 自家用車を運転している人は利便性を考えて毎日運転しているため、これらの方をいかにして公共交通バスに振り向かせるかは大変難しい課題です。</p> <p>この課題を少しでも解決できないかと思い1ヶ月間に消費するガソリン代を予測し、これと1ヶ月定期券価格を比較することでガソリン代の高い方は少しでも公共交通バスを利用していただけを願いたい。ご検討の程よろしく申し上げます。</p> <p>4. 外国人の多くは自転車で買い物や娯楽施設に行かれますが、最近では自家用車を利用する方もよく見かけます。ガソリン代との比較表は外国人の方の公共交通バスへの利用を促すことにも役に立つかと思っておりますので、可児市役所の1階ロビーに掲示されることでPRしてはいかがでしょうか。ご検討の程よろしく申し上げます。</p>		<p>3.について 現在自家用車を利用されている方には、普段の生活の中でたまには公共交通を利用していただけるよう利用促進を行ってまいります。</p> <p>4.について 現在、外国籍の方の利用が増えつつあります。このため、停留所の英語併記などを行っています。まずは多言語での情報提供を行ってまいります。</p>			

協議第 1 号 可児市自主運行バス 再編（案）について

No.	いただいたご意見	意見に対する事務局の考え方
1	<p>再編案の大きなポイントである各路線の短縮・効率化は大きな意味があり、（特に再編後乗り換えが発生する）各地区の住民への理解・認識が非常に重要となってくると思います。</p> <p>「今後のスケジュール」では地元説明会の記載が 9～12 月となっているが、次年度上半期においても継続的に実施することが効果的と考えます。</p>	<p>乗り換えが発生することに関しては、1 日乗車券の利用案内と合わせて、改正日までに十分に周知を行っていきます。</p> <p>地元説明会は地域との調整が必要であることから複数回の開催は難しいと考えますが、説明会以降は利用者からの要望も含め、随時意見を聴取していきます。</p>
2	<p>よく検討された再編案だと考える。</p> <p>一部気になるのが、兼山線のさつきバス土休日の運行時間である。原稿 8 時～16 時台 4 便であるが、再編案の場合 12 時までとなっている。土休日は可児市を訪れる観光客もあるため、土休日の 1 本（12 時台）を 14 時台に運行してはどうか。乗客の見込み数と兼ね合わせご検討いただきたい。</p>	<p>兼山については、YAO バスが運行しているため、観光客にはこれを利用してほしいと考えています。</p> <p>さつきバスは兼山地区の方の通院や買い物利用を想定しているため、帰宅までの時間が長くなりすぎないように 12 時台を設定しました。</p>
3	<p>さつきバスの 1 日乗車券の導入は大変良いと考えるが、どのように乗り降りチェックするのか。交通系 IC カードを導入すればスムーズに管理できると考えるがどうか。</p>	<p>1 日乗車券は、乗務員が発行し、定期券と同様に提示して降車いただくことを想定しています。不正防止策は検討します。</p> <p>交通系 IC カードは、費用が非常に高いため導入が困難です。</p>
4	<p>さつきバス再編の「1 日乗車券」導入は賛成です。500 円については少し高いと思いますがどうでしょうか。</p> <p>土休日の運行は利用者の増加が見込め、よいと思います。</p>	<p>現行では行き先によっては 600 円以上かかってしまうこともありましたが、再編後はどの停留所を利用しても 500 円までとなります。具体的な利用方法を示すなどして、ご理解いただけるよう周知していきます。</p>
5	<p>数年ごとの見直し</p>	<p>鉄道や路線バスのダイヤ改正時には、接続を考慮し、必要であればダイヤの見直しを行います。</p>

6	<p>熟考された案と思います。ていねいに地元説明をして、必要に応じて対応をお願いします。</p>	<p>地元説明会の開催が困難な状況ですが、各地区の状況に応じてきめ細かな対応を行っていきます。</p>
7	<p>予約バスの再編により長時間の移動によるトイレなどの問題が心配です。</p>	<p>今回の再編により、最も時間のかかっていた春里・姫治地区の乗車時間が短縮されます。停留所数が増加した地区もありますが、移動距離は再編前と大きく変わりません。川合・広見東地区は移動距離が延びることがありますが、他地区と比較して極端に長くなることはない想定しています。</p>
8	<p>さつきバスダイヤ再編方針（15 ページ）にさつきバス日曜日・祝日運行開始により東鉄バス帷子線の減便をカバーして利便性を改善すると記載されていますが、本当に期待どおり改善されるのか若干疑問です。</p> <p>上記の報告第 1 号に記載しました事項と関連しますが、再度多くの方々（高齢者世帯、特に高齢者単身世帯の方々を重点的に）が日常利用しやすくするために改善すべき優先すべき事柄を見付け出すことが大事だと思います。</p>	<p>今回の再編により、路線の効率化を図ることで増便を行い日曜日・祝日の運行を開始することができました。さつきバスの台数は限られることから、すべての帷子線との接続を考慮することはできません。日曜日・祝日の運行により、帷子線とさつきバスの接続が増えるため、利便性が向上すると考えています。</p> <p>令和 4 年は可児市地域公共交通網形成計画の中間見直しを行う予定です。その際には多くの方々のご意見を伺い、改善点があれば改善します。</p>
9	<p>上記の課題に対して、“東鉄バス・YAO バス・さつきバス”は、いずれも乗車人数が減少しているため大いに利用促進を図る必要があります。特にさつきバスは可児市公共交通バスの要ですので、これの利用促進を図るべく色々な観点から検討させていただきました。</p> <p>1. 現在は利便性のある自家用車・自動車が大半利用されているため、公共交通バスでの移動は殆ど利用されていないのが現状です。しかし、高齢者の日常生活や学生の通学に利用促進を図るために下記のことを検討しました。</p> <p>①可児駅・新可児駅・西可児駅等鉄道各駅からさつきバスを</p>	<p>1.について</p> <p>さつきバスの乗車料金は福祉的な観点により採算の取れる金額設定となっております。</p> <p>現在の乗車料金からの値下げは、今後の事業継続が困難となるため、実施する予定はありません。</p>

利用したい学生には学生割引定期券を発行する。

②年齢が後期高齢者以上の方や生活保護の方の日常生活を支えるために下記負担金の納付を義務付けさせることで無料乗車のできる敬老パスを交付する。

負担金の額（年額）	区分
5,000 円	世帯全員の合計所得金額が基準以下の方、生活保護に対する支援給付を受給している方
7,500 円	本人の合計所得金額が基準以下であって、他の世帯員の合計所得金額が基準額を超える方
10,000 円	本人の合計所得金額が基準額を超える方

負担金は私案ですので負担金と基準額についてはご検討の程よろしく申し上げます。

2. 観光振興と連携した公共交通サービスにするため下記のことを提案します。

①可児市に観光に訪れた方のために JR 可児駅前に観光地の案内図の立て看板を設置する。

②観光地へ向かわれるお客さんには、スピーカーから音声を流して可児市の観光ガイドをする。

3. 公共交通バスを持続させるための方策を提案します。

①運行本数を増やす。

②すばやく乗り継ぎができるよう乗り継ぎ時間を短縮する。

2.について

観光交流課に提案としてお伝えします。

3.について

①運行本数は、今回の再編で路線の効率化を図ることにより中心循環線及び日曜日・祝日の運行を増やすことができました。平日の運

<p>③路線は利用者が良く利用する場所、施設を対象に決める。 あまり利用のない路線は思い切って廃止する。</p> <p>④地区センター・可児川苑・文化創造センター・福祉センター・病院・買い物、飲食、娯楽、JR・名鉄の各駅などの施設は利用率が高いので、この路線の近くの方に公共交通バスを利用されることを勧める。</p> <p>⑤運行時間は通勤・通学を見込んで午前7時から午後6時とする。</p>	<p>行本数の増加についてはさつきバスの台数を増やすことが必要です。現在の利用状況では困難なため、今後利用が増えるよう利用促進施策を行っていきます。</p> <p>②乗り継ぎに配慮したダイヤを作成しました。さつきバスが遅延することもあるため、少し乗り継ぎに余裕のあるダイヤとなっております。</p> <p>③過去の利用実績から、利用の多い施設に乗り入れる路線となっております。</p> <p>④効果的な利用促進施策を行っていきます。</p> <p>⑤若者の通学に利用できる時間帯を見込んで運行をしております。</p>
--	--